

(作成年月日) 2024年11月18日

研究に関する情報

当施設では、下記の研究を実施しております。この研究は、2020年度に香川大学医学部臨床心理学科に入学された方を対象に実施した調査結果を用いて行います。2024年11月18日に香川大学医学部附属病院ホームページおよび医学部ホームページにおける研究責任者の紹介ページに二次利用について公示しております。

この研究は、「ヘルシンキ宣言 (2013年フォルタレザ改訂)」を遵守の上で実施しています。この研究に関するお問い合わせや、情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名]

心理職養成課程 (学部課程) における多職種連携能力を涵養する実習プログラムの継時的効果

[研究の目的]

本研究は本学心理職養成 (学部課程) における実習プログラムの教育効果について、多職種連携能力の涵養という観点から4年間の実習プログラムの教育効果を検討することを目的とします。その成果は将来、現場で働く心理職が多職種連携を実践する際に役立つ実習プログラムの考案に生かされます。

[研究の方法]

・対象となる方

2020年度に香川大学医学部臨床心理学科に入学された方で、2020年度 (1年次) から2023年度 (4年次) の4年間を通じて実習前後に実施された①「心理職養成課程における早期多職種連携教育の短期及び継時的効果の検討」調査協力に同意された方、2023年度 (4年次) の実習前後に実施された②「心理職の多職種協働実践力を育む実習プログラム評価尺度の開発」調査協力に同意された方で、研究協力の撤回や研究情報の二次利用の拒否の申し出等、除外基準に該当しない方。

・利用する情報

情報：①2020年度 (1年次) から2023年度 (4年次) に実施された研究「心理職養成課程における早期多職種連携教育の短期及び継時的効果の検討」にて調査した「多職種連携教育への準備性・志向性」に関する自己評価
②2023年度 (4年次) に実施された研究「心理職の多職種協働実践力を育む実習プログラム評価尺度の開発」にて調査した「多職種連携能力」に関する自己評価

[研究組織]

香川大学医学部臨床心理学科 心理実践職能学 准教授 長谷綾子

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の対象者の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する対象者の個人情報に関しては、お名前、学籍番号など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際もご本人を特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部臨床心理学科心理実践職能学 准教授 長谷綾子

電話 087-898-5111 (代表) 8:15~17:15 FAX 087-891-2016

087-891-2496 (直通) 9:00~18:00